広々空間で本選び

メルカ 市立図書館オープン

メルカ2階に新しい市立図書館・中央公民館が開館した1日、オープンとともに大勢の市民が詰め掛けた。広い館内で目当ての本を選んだり、ワークショップに参加したりと、思い思いに施設の魅力に触れた。（近藤哲也）＝28面関連

オープンと同時に続々と入館する市民ら。初日から多くの人が新施設の魅力に触れた

全面改装が完了

魅力増へ新規店誘致

グランドオープンし、買い物客らでにぎわうメルカ

メルカの全面改装が完了し、1日にグランドオープンした。新規店の誘致などで衣料品や雑貨、飲食店を強化。2階に入居した市立図書館・中央公民館の開館と合わせ、中心市街地の交流拠点が生まれ変わった。

1993年の開業以来、初の大規模リニューアル。商業部分の売り場面積は約9800平方㍍で、商業テナントは改装前の21から31に増える。核テナントの天満屋ハピータウンを1階に集約し、2階には新たに子ども服の「西松屋」、100円ショップの「セリア」など新規店が入居した。1階セントラルコートは催し物や作品展示に利用できる。

天満屋ハピータウンなど大半の店が先行営業しているが、1日は新たに、女性衣料の「ハニーズ」など4テナントがオープン。記念式典では、黒田晋市長、玉野商工会議所の三宅照正会頭、来店した市民の代表らがテープカットし、備前玉野太鼓の演奏が、祝賀ムードを盛り上げた。

オープンとともに大勢の市民らが来店し、買い物を楽しんだり内装も一新された館内を散策。味谷静子さん（67）＝後閑＝は「店内がきれいになり、新しい店も増えて雰囲気がすっかり変わった。何といってもメルカは玉野の中心なので、にぎわいにつながればいいですね」と話していた。

メルカは近年、テナントの撤退が相次ぐなど、経営的に苦戦していたが、リニューアルと市立図書館・中央公民館の入居で魅力アップを図る。

（角南邦彦）

作品展や多彩なワークショップ

施設の一角に設けられたギャラリーでは、郷土ゆかりの作家たちの作品を紹介している

白を基調とした明るい雰囲気の館内。床は瀬戸内海をイメージしたという青色で、適度な間隔で配置された書棚や机が海に浮かぶ島々を思わせる。

雑誌コーナーには旧図書館の2倍の約100誌がそろう。児島湾干拓にちなんだ郷土資料が並ぶ一角では、まちの成り立ちが学習できる。保護者同士で会話できる「ママともコーナー」、読み聞かせ用の「おはなしのへや」も新設された。

飲み物の持ち込みが自由とあって、カップを片手に書架を回り、ソファで新聞を読む人も。新たに導入された自動貸出機には、早くも行列ができた。

オープニングイベントも多彩。ギャラリーでは9日まで、イラストレーター内尾和正さん＝長尾＝ら地元ゆかりのアーティスト4人の作品を紹介する。明治末期～昭和50年代の市内を写した懐かしい写真の展示もある。研修室や児童書コーナーではステンドグラス、バルーンアートといった多彩なワークショップが人気を集めた。

バルーンアートを体験する子どもたち。オープンを記念し、多彩なワークショップが用意されている

利用者が自分で手続きできる自動貸出機が導入された

玉野高校の新2年生星島大輝さん（16）は「開館が待ち遠しかった。ゆったりした空間で本を探しやすい。素晴らしい施設を今後もしっかり活用したい」と話した。

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。